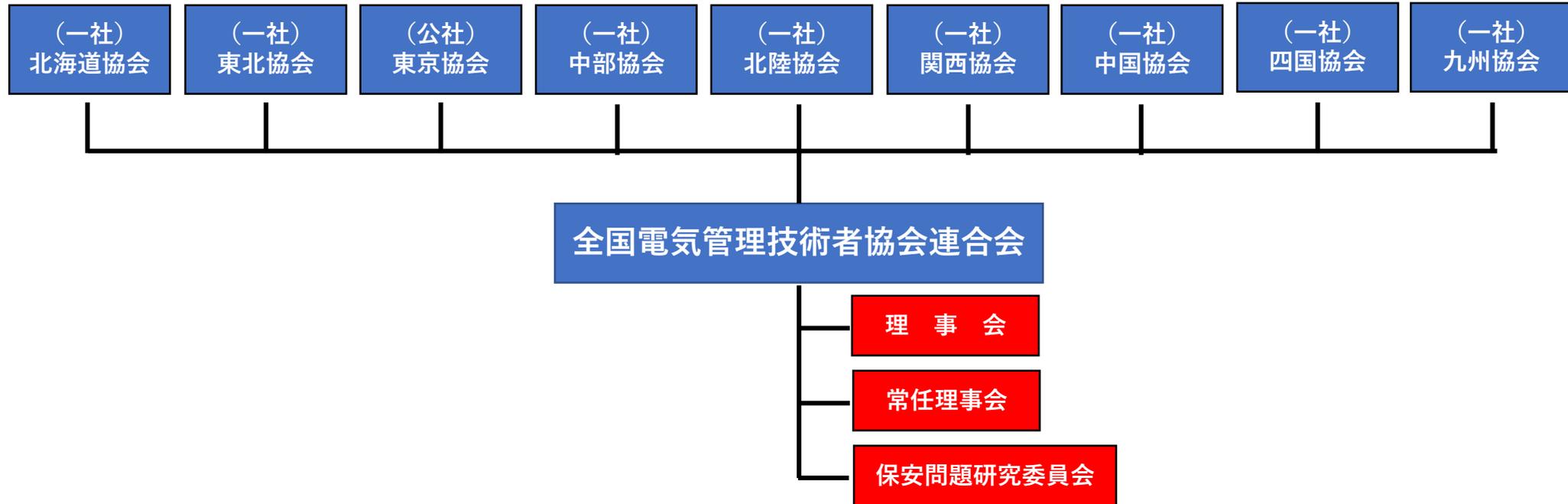


# 自家用電気工作物に係る電気保安の スマート化に向けたアクションプラン

全国電気管理技術者協会連合会

# 1.全国電気管理技術者協会連合会（全技連）の電気保安の現状

## 1-1.全技連の構成



## 1-2.電気管理技術者数

令和2年3月末現在

北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	合計
248	489	2,223	508	193	882	402	100	462	5,507

## 1-3.受託件数

令和2年3月末現在

北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	合計
10,130	18,905	75,187	18,778	6,542	28,227	16,230	3,997	15,464	193,460

## 1-4.電気保安管理業務の課題

- 電気管理技術者の不足  
(会員の高齢化、入会者の減少)
- 小規模自家用電気工作物の高経年化
- 再エネ発電設備(特に太陽光)の設置数の増加
- 新型コロナウイルス感染症下での電気保安管理業務の継続

新技術導入

電気保安管理業務のスマート化

- ◆ 保安管理の質の向上
- ◆ 業務効率向上

## 1-5.スマート保安の現状

- スマート保安に関する知識は、自家用電気工作物設置者よりは電気管理技術者の方があると認識している。
- 小規模自家用電気工作物設置者のスマート保安に関する知識は、現時点では非常に少ない。
- このようなことから設置者は、電気管理技術者に「スマート保安」に関するセカンドオピニオンを必ず求める。
- 設置者の理解を得るためには、電気管理技術者が「スマート保安」の有用性を認める理解が重要となる。

## 2.電気保安管理業務のスマート化に必要な取組

### 2-1.電気管理技術者の理解を得るための取組

- ・電気管理技術者が行っている点検を、光学カメラ等のセンサー類で代替することが可能かを説明する。  
⇒説得力のある実証データが必要である。
- ・「スマート保安」、「AI」等は、電気管理技術者の仕事を奪うものではないことを説明する。
- ・電気管理技術者の将来的な不足も予想され、その不足を補う目的もあり、効率的・品質の高い保安管理業務を目指していることを説明する。
- ・第三者認証による「スマートキュービクル」の概要及び仕様等の説明をする。
- ・「スマートキュービクル」の導入コストや動向を説明する。

等

### 2-2.自家用電気工作物設置者の理解を得るための取組

- ・長期間の契約関係にある電気管理技術者と設置者には信頼感が強いので、電気管理技術者自ら説明を行う。
- ・いわゆる「設置者責任」の理解促進を図るため官と協力して周知活動を行う。
- ・スマート保安導入のメリットを説明し理解の促進を図る。

等

### 3.電気保安管理業務の将来像（2025年）

- ・電気管理技術者の不足が予想される中、現場巡視点検を効率化・省力化するために遠隔常時監視技術を活用する。
- ・これにより遠隔地で現場の状況を集中監視し、駆けつけ対応時は現場に着くまでに状況把握が可能となる。
- ・現場巡視点検の遠隔代替や作業の合理化及び異常予兆検知による事故の低減が期待される。
- ・新しい遠隔監視技術の人間による巡視点検作業の一部代替可能性については第三者評価が必要である。

